

埼玉連だより

第

58号

平成 28 年 11 月 30 日

★発行事務局 〒359-0026 所沢市牛沼 250-19 (本橋民夫方) TEL・04-2995-3839

埼玉県弓道連盟総務委員会

埼玉県弓道連盟

来年度に向かって

会長 本橋民夫

今年も早くも上期が終了し、来年度の行事計画作成の時期となりました。来年度は全日本弓道連盟主催の行事で新たに加わる大会と出場選手の選考方法が一部変更になる大会があります。

まず、新たな大会は都道府県対抗弓道大会です。選手の構成は50歳未満2名、50歳以上3名の5人1チームです。全日本少年少女武道(弓道)錬成大会(海の日)が終了した翌日に同じ日本武道館で行われます。

もうひとつは、来年度から全日本弓道選手権大会の地区予選が実施されます。全国大会には各県1名(男、女)が選出され、その他に関東地連から男女各10名が代表選手として出場することになります。その為に関東地区予選が毎年7月の最後の土曜日に開催される予定です。関東地区予選の運営は各地連持ち回りで、平成31年度は埼玉県が主管の予定となっています。

次に埼玉連内の事ですが、最近、国民体育大会の県内予選への参加者が非常に少ない傾向にあります。関東ブロック予選突破も厳しい状況にあります。国体を目指す人を対象に国体選手育成会を実施しておりますが、国体予選会はこの国体選手育成会参加の有無は全く関係ありません。年齢に関係なく、段位に関係なく多くの方の参加を希望します。多くの方が国体選手の座を競い合うことにより、全体のレベルアップが図られ、国体関東ブロック予選突破へとつながると思います。ひとりでも勇気をもって堂々と参加して欲しいと思います。

それぞれ自分の目標とする競技会や審査会を目指すことで日々の練習も内容の濃いものになると思います。

さて、上期の話題としては、リオデジャネイロ・オリンピックでの日本選手のメダルラッシュがありました。その中で、勝利した日本人選手の行動で、2つの対照的なものがありました。



一つは、卓球のある選手が勝利の瞬間、対戦相手に対して礼をすることも忘れ、床に転がって派手にガッツポーズをとって喜んでいました。それを見た人が後日テレビで、負けた相手の選手が試合終了後の挨拶をしようとしているのに、勝った選手は挨拶もしないでガッツポーズをとっているのは失礼だと解説していました。

そのことに対してその選手からは、試合場は戦場であり、必死になって戦っている。その結果としてそのような派手なポーズが出てしまうのだというコメントがありました。

一方、柔道の決勝戦で勝った選手が、感情を顔に出さず試合前と同じ表情で敗者と握手を交わし、互いの健闘をたたえ合い別れた。そしてその選手は試合場を出るまで無表情を通したという報道がありました。

剣道の試合でも、「一本」をとった後、ガッツポーズ等非礼な態度をとってその「一本」を取り消されるということもあると聞いたことがあります。これが武道とスポーツとの違いではないかと思えます。

スポーツとは、ヨーロッパで生まれ、日々の生活から離れる(disport)ことを通して「生活を豊かにする文化」です。言うならば、週末郊外に出かけてスポーツをして気分転換し、

また1週間精を出して仕事をするというようなものだと思います。総じて、スポーツには「気晴らし」や「楽しさ」が根底にあることは間違いないと思います。

一方、武道は、家を守るため身を守るための武士の鍛錬とそれを通した生き方の探求に端を発し、「生活と共にある文化」なのです。「道」という言葉がついている武道は、本来スポーツというより人間教育を重んじ、その上に競技力

が養われる「修行道」です。即ち、技術の錬磨を通じて、道徳を身に付けるという文化です。

弓道審査の学科試験の問題に「射を行う態度」というのがよく出題されます。答案用紙に「恭敬敬愛の容儀を備え、粗卒倨傲の態度があってはならない」と多くの人が書いています。

スポーツでも武道でも発祥の経緯は異なっている、様々な経験をして謙虚になり人として成長していけばよいのではないのでしょうか。

弓を通じ 生き方を学ぶ

「梶田さん効果」期待 魅力伝える

県弓道連盟会長 本橋民夫さん(66)に聞く

朝日新聞に掲載された、本橋会長の記事を転載します。(2015年12月19日埼玉版、「きょういくトーク埼玉」)

弓道が注目を集めている。ノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章さん(56)は出身の県立川越高校、埼玉大学で弓道に7年間打ち込み、研究との文武両道を実践した。テレビ番組やCMなどに弓道が登場する機会も増えている。弓道が果たすべき教育面や健康面での効果、弓道の伝統や魅力について県弓道連盟の本橋民夫会長(66)に聞いた。

一心身を鍛える武道として、弓道が取り上げられる機会が増えています。

「柔道や剣道に比べると弓道は競技人口が少なく、県内でも6千人ほどです。全日本選手権がテレビ中継されることもなく、これまで報道される機会も少なかった。これを機に弓道の魅力が伝わり、競技人口も(弓道連盟の)会員も増えて欲しいですね」

一弓道の基本的動作について教えてください。

『射法八節』という八つの動作が基本です。流派で違いはありますが、全日本弓道連盟の『弓道教本』では、両足を踏み開く『足踏み』、その上に腰を据える「胴造り」、矢を番えて構える『弓構え』、上に上げる『打起し』、押し開く『引き分け』、狙いを定めて心の充実を図る『会』、矢を放つ『離れ』、『残心(残身)』。すべてが流れるような一連の動作として行われます」

一学生時代に弓道を通じて学ぶ意味はどこにあるのでしょうか。

「部活動は社会の縮図だと思います。弓道部で弓を学ぶことは『生き方を学ぶ』ことにつな

がります。先輩への礼儀、同級生や後輩への思いやり、マナーは一般社会でもどこでも通用します。もう一つは時間の有効活用。時間があり、物事を先延ばしにすると中途半端な仕事になる。『部活をやっていたから試験に落ちました』ではダメ。学業も部活もバイトもしっかりこなすことは、時間を管理して、計画的に物事を進めて結果を出すことにつながる。『弓を学ぶ』で終わらず、『弓で学ぶ』のです」

「わたしは、兄が弓道で高校総体に出場したことなどから興味を持ち、高校・大学の部活動を通じて7年間練習に打ち込みました。いつでも一人でも稽古ができて、その結果はすべて自分にあるというところが好きで、長年、勤務の傍らに続けてきました」

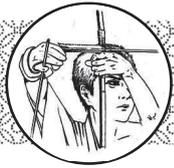
一弓道を始めるときの何が必要ですか。

「道具は弓と矢、右手に着ける『かけ』(革製の手袋)は市町村の各道場に備わっているはずなので、借りることができると思います。服装は初心者段階を終えるまではトレーニングシャツ。その後は袴などを用意すれば良いでしょう」

一弓道の難しさや魅力は何でしょうか。

「弓の場合、相手は的ですが、的はいつも同じ大きさ(直径36センチ)、同じ射距離(近的競技は28メートル)にあり、動かない。動くのは自分の心。心が動揺する。『邪念の無い弓を引きたい』と思っても、的を見つめると『的に当てたい』という思いが出てしまう。『今度こそ弱い自分に勝とう』と弓を引くが、なかなか思うようにはいかない。『あそこまでゆきたい』と稽古を重ねても目標にたどり着かない。近づいたと思ったらさらに遠くにある。それが弓道だと思います。一生追いつけても到達しないのかも知れません」

「弓を続けていると気持ちに張りが出るものです。県内に90歳を超えてもなお現役という方もおられるのは、そういう魅力があるからかもしれません」



専門委員会だより

総務委員会

弓道の楽しさを広げよう

委員長 浅野 光子

会員名簿を2年ぶりに作成し、884名の購入希望者に送付しました。これは3,287名の埼玉連会員のうち27%になります。2年前の名簿購入者は1,347名でしたから、今回は大幅に数を減らしたことになります。2年前は11年ぶりの発行でしたので一概に比較はできませんが、名簿発行も難しい時代になったのかもしれない。購入者が減ると同時に、名簿に名前を載せることを希望しない会員も増えています。今回の名簿の掲載者数は、会員総数の81%です。これも時代の流れでしょうか。また一方で「道場に一部ほしい」という声もありますが、個人情報保護の観点からお応えできませんのでご了解下さい。

名簿発行に直接関わるわけではありませんが、弓が好きで集まる場所がある、沢山の方々と一緒にひとつのことに夢中なる場所がある、ということはとても幸せな事です。この幸せをもう少し横に広げていけたらと願っています。

今後の名簿発行については、時間をかけて検討していきます。

さて、今年はリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの年で、柔道選手の活躍が大いに話題になりました。4年後の東京オリンピック・パラリンピックでは空手が実施競技となります。同じ武道種目が注目を集める中、弓道も裾野を広げる取り組みを一層進めていかなければならないでしょう。1964年の東京オリンピックでは弓道は日本の武道の一つとして日本武道館でデモンストレーションを行いました。4年後がどうなるのかは分かりませんが、私たちが弓道の楽しさを広め、弓を引く仲間を増やしていくことがすべての土台になることは間違いないことでしょう。総務委員会では会員拡大を最も大事な課題としてこれまで取り組んできました。平成29年度からは埼玉県内の各道場で行われる「弓道教室」の情報をもれなく埼玉連会HPに掲載することを考えています。みなさんの地道な取り組みの積み重ねで埼玉弓道を盛り上げていって頂きたいと思います。

指導委員会

脚下 照 顧

委員長 飯島 千代子

指導委員会では、講習会を年に数回実施しております。

熱心な方は毎回受講し前回指導してもらった箇所を修正してきますが、指導される箇所は、ご自身でも承知していることが多い様です。そんな中「癖なのです」と発言する方がおります。本当にそうでしょうか。

「基本に戻ってやりなおします」と簡単には言えますが、それができれば「癖」にはならないはずですよ。

大切なのは「基本を守ってなすべきことをやりとおす」ことです。

癖になる前に、基本をやりとおしてください。今号の松沢先生講座は、「癖の修正」です。勉強してほしいと思います。

県連第三回講習会は、射技指導より基本の動作の注意点を重点に行いました。

簡単と思われる歩行が一番難しいとの声がありました。すべての動作は、腰が基幹となることを実感していただいたと思います。

矢においては、弓の受け渡しができない方が多く、見る機会はあつてわかっているつもりだけど勉強する機会がないことを痛感しました。

質問も多く熱心さがうかがえ、今後の講習会のあり方を考えたいと思いました。

今後、指導委員会としては、「弓道講座」の開催を検討しています。弓の歴史、道具の選び方等を学べる機会を設けたいと思います。

11月の指導委員研修会で検討し意義のある講習会を目指します。



講習会 (矢の処理)



入館時の協力依頼並びに三県記録報告

委員長 岡芹 喜行

今年度大会行事も会員皆様のご協力を頂き、2競技を残しスムーズな運行が出来ましたことに御礼申し上げます。

1 大会ごとの開館時刻

ここで一つお願いですが、県弓道大会要領には、大会ごとに開館時刻が記載してあります。

この開館時刻は、競技役員が会場設営を行うために設けたものです。

競技役員と一緒に入館し、自分の準備だけを優先して、弓を張ったり着替えたりは控えていただきますようお願いいたします。

出来れば競技役員の指示を仰ぎ、会場設営のお手伝いをお願いしたいところです。

選手の皆様は、競技役員の指示により入館、設営準備をお願いします。

2 三県選抜(親善)・三県範教錬士研修会記録

次に、三県選抜弓道大会並びに三県範教錬士研修会記録についてです。7月に三県選抜弓道大会の今年度当番県として主管するにあたり、今までの資料を目にすることが出来ました。

記録は、昭和48年第16回三県親善弓道大会から残っており、平成8年第39回には三県選抜弓道大会と名称も変わり、今年度の第59回まで各優秀県・入賞者が記録されています。

三県範教錬士会は、昭和51年9月に第1回が群馬県で開催されたことから始まりました。発足の経緯としては、関東地区中央講習会が明治神宮で開催され、その内容を正しく的確に伝達するために三県で教錬士研修会を持った事が始まりと記されています。第17回から範教錬士会と名称変更されています。

膨大な資料の編さんを競技副委員長の中島先生に託し、開催会場・指導内容・参加費・参加者・優秀県及び競技成績等、極め細かく一覧表に纏めていただきました。

まとめた資料は埼玉連HPのアーカイブ(記録集)に三県記録として載せ、今後年々追記していくこととしております。

埼玉連会員の皆様の参考にしていただければ幸いです。



2016 国体強化と愛媛国体への取り組み

委員長 瀧上 三郎

岩手国体出場を目標に3月から5回の予選会を行い6月に代表選手を決定、錬成会をスタートしました。強化会場は県立武道館、熊谷運動公園弓道場を使用。少年チームや他県の国体選手との合同練習会、関東ブロック大会本会場山梨県での強化合宿を行い選手、監督、強化委員ともに関ブロ突破の一念で稽古を行いました。

成年・少年それぞれチームワークも良く上向きに調整ができ、選手の体調も万全で当日を迎えました。多くの会員や関係者の方々が現地山梨県まで応援に駆け付けていただき大きな応援、声援の中、関東ブロック大会に臨みましたが、4種別すべて突破出来ず本国体に出場叶わず、非常に残念な結果で終わりました。

この苦い経験を活かし国体強化を行うにあたり埼玉連全会員の力が必要であることを痛感し、次の育成会、予選会には県内外で活躍している成績優秀な会員の方、埼玉で生まれ育ち大学の弓道部等で活躍されている方など広く参加を望みます。また次期に繋がる有望選手の育成を各道場で取り組んでいただき、育成会、予選会に送り出していきたいと思っております。

来年の愛媛国体では弓道が会期前開催となる関係で今年より約1カ月早い(平成29年9月9日～)開催となります。それに伴い群馬県で行われる関東ブロック大会も、平成29年7月22-23日に決定しました。愛媛国体に向け国体強化育成会も第1回を11月5日にスタートし平成29年2月までに4回を予定しています。今回の育成会は矢数を掛け、的中得点を重視した予選会を想定しての競技形式を主に参加者の射の内容、メンタル面へのレベルアップを求める育成会にしたいと考えております。

育成会また予選会に参加者の各道場の先生方には代表選手を目標に稽古量、的中率、安定度、そして自信を持つために不断の稽古がいかに大切かをご指導宜しくお願いします。

2017年3月より第1回代表選手選考会が始まります。多くの愛媛国体を目指す方々の参加を希望いたします。

審査委員会

現況報告とお願いについて

副委員長 齋藤 安次

日頃より審査関係役員を始め受審者各位には、円滑な審査事業運営にご協力いただきまして厚く御礼申し上げます。

さて、平成28年度審査会も折り返しに入っ
てまいりましたので、以下に9月末時点での現
況報告と反省方々お願いをさせていただきます。

【現況報告／9月末現在】

県内審査会での受審者数は、地方審査が2,140
名（前年比97名増）になっています。

また、他地連主管の審査会への受審者は、地
方審査会がゼロ、連合審査会が306名（前年比
11名減）、学生・教員特別審査会が99名（前
年比5名減）、中央審査会は631名（前年比145
名増）、他推薦2名になっています。

したがって、現在の総受審者数は3,176名（前
年比226名増）で前年度より7.1%増えています。

また、合格の状況は、全体の合格率が52.1%
です。内訳としては地方審査会が73.3%、連合
審査会が45.8%、学生・教員特別審査会が53.5
%、中央審査会が3.3%でした。

【審査委員会からお願い・注意事項】

審査委員会での決定事項については理事会を
通じて各支部長と審査受付担当経由で会員の皆
様に伝達されていると思いますが、再度PRし
事務作業の精度向上と効率向上を図りたいと考
えています。

★審査申込書には楷書で記入★を守ってい
ただくと間違いの無い事務処理ができます。

最近あった事例としては、ID番号を1と7、
0と6を読み間違え、別人の受審者名簿が作成
されてしまった。草書体で達筆に見える申込書
の方が間違いやすいと言うことをご理解いただ
きたいと思います。また、氏名については会員
登録した時の字体でお願いします。違う場合は
認許証書の字体をどちらにするか本人に確認す
る必要が出てきます。耳タコのお願いで申し訳
ありませんが、宜しくお願い致します。

女子部

女子部役員に携わって

副部長 大上 直美

女子部に携わって私の弓道生活の半分を占め
るようになりました。女子部は女子会員の皆様
に遠的大会・近的大会、又、前年度までは四段
以下の講習会を行ってきました。この行事に伴
ない役員会、自分たちの向上の為の研修会と親
睦を深めてまいりました。

講習会がなくなった事に関しましては残念だ
と言う声を沢山に頂き、女子部冥利につしまし
た。

長い人生に於いて夢が叶う事があれば挫折が
あります。生きている限りそれを乗り切らなけ
ればならない時もあります。私も健康だった体
に異変が生じました。幸いな事に弓を続けてい
ける事でした。年齢を重ねていくと何が起きる
か未知数です。それはそれとしてこれからは前
向きに捉えて弓を楽しみたいと思っています。

そのような仲間を知った事は弓の動作、体全
体を使う射技は自然に体を鍛えてきていたこと、
体に必要な動きが全て含まれていることです。
理屈では分っていましたが、弓道を通して自然
に鍛えられていたことは嬉しい再発見でした。
おまけに主治医が弓の経験者でこの弓つながり
は一番大事な信頼関係も大きく、又、県連の先
生の強い励ましのお言葉は随分私を助けてくれ
ました。

違う角度から弓道の素晴らしさを知り、精神
面を立て直す力、教本で言う克己、忍耐、あつ
てはならないけど弱き、それに負けない強さを
自分に取り入れなければならないこと、少しば
かり学んだように思います。そしてこの半年、
検査でつらい経験をしてきましたが、この事が
今後の私に少しでもプラスとなり、私の生活に
大きな力となるように努力する事が今の私の最
高目標であり、かなえたい夢です。

最後に女子部の存在感を益々高め、女子部の
皆様が大きく活躍出来ます様に一緒に頑張りま
しょう。



高 体 連

第16回東日本高校弓道大会埼玉大会

委員長 山田 紀之

来年3月に開催予定の標記大会に向けて、準備を進めているところです。連盟からの多大なる御支援により、埼玉大会もここ数年の流れとなっているアリーナ特設射場開催で実施できることとなりました。

県立武道館主道場に特設で15射場の射場を設営、既存の弓道場を練習会場として使用いたします。

平成20年度の埼玉インターハイの折、川越総合運動公園の体育館アリーナに特設射場を設けての大会運営を行って以来、県立武道館では初の試みとなります。

インターハイ、全国選抜と高校生の大きな大会は、ほとんどがアリーナでの開催となっており、弓道連盟の先生方にも、ぜひ足を運んでいただき、高校生の大会を見ていただければと思います。引き続き、御支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

平成29年3月19日(日)5人制競技、20日(月)3人制競技が実施されます。ぜひ県立武道館においでください。

〈大会結果〉

●第60回関東高等学校弓道大会県予選会

平成28年4月23日(土)女子458名、24日(日)男子445名、大宮公園弓道場

○女子団体／①熊谷女子B36中(正能萌々子、渡辺麻里花、中村美枝子、今泉宙子)②草加西A35中(野口早耶、三浦 遥、笠水上瑠南、八島未有)③大宮光陵A33中(島田菜月、菊池和叶、折原美和、秦 唯帆)④東農大三A32中(鷺見ひなの、岡野桃子、高岡真帆、鈴木真菜)⑤星野A32中(江川小慧、金子明日香、森田奈々絵、平林菜々子)

○男子団体／①東農大三A38中(鈴木興紀、梶野遼太郎、成川侑希、高山夏樹)②岩槻商業A38中(上杉 力、関根直樹、塚田大斗、江原拓海)③春日部A37中(榊原奎亮、南 孝輝、河野 大、岩野芳隆)④坂戸西B37中(会田一真、栩原潤也、新井京太、正木 凜)⑤東農大三B36中(岡村勇汰、梶田遼太郎、関口将太、

平良 陸)⑥浦和B36中(小池隼太、増田拓馬、前原栞太、丸山 巧)

○女子個人／①鷺見ひなの8中(東農大三)、②黒澤万史子7中(鳩ヶ谷)③石田 愛7中(岩槻商業)

○団体個人／①前原栞太8中(浦和)②岡村勇汰8中(東農大三)③榊原奎亮8中(春日部)
※女子団体5位まで、男子団体6位まで本大会出場(記念大会上位5校、男子は東農大三が2チーム入賞のため)

●第20回埼玉県高等学校遠的選手権大会

平成28年5月8日(日)男女 県立武道館
参加者 男子123名 女子89名

○男子個人／①塚田大斗100(岩槻商業)②会田一真94(坂戸西)③勝呂彰羅88(西武文理)

○女子個人／①島田菜月82(大宮光陵)②井上結衣67(伊奈学園)③齋藤涼葉57(浦和北)

●第60回関東高等学校弓道大会

平成28年6月3日(金)～5日(日)

栃木県体育館本館特設弓道場

○女子団体／③草加西(野口早耶、三浦 遥、笠水上瑠南、関根静香)

○男子個人／⑥上杉 力(岩槻商業)

○技能優秀男子団体 川越

●学総体兼全国高校総体県予選会

平成28年5月3日(火)大宮、上尾、日高、熊谷 6月11日(土)12日(日)18日(土)

男子988名、女子1,022名

○男子団体／①岩槻商業(上杉 力、金子翔太、塚田大斗、矢部海斗、関根直樹、三浦大樹、山根 快斗)②東農大三(鈴木興紀、梶野遼太郎、岡村勇汰、関口将太、成川侑希、高山夏樹、平良 陸)③杉戸農業(岡田佳樹、吉永孝行、成田雅哉、高杉 誠也、石井 輝、林 幹太、堀 佑輔)④草加西(宮澤諒太、高橋歩夢、赤石裕次郎、佐藤瑠亮、山崎 義宗、花塚 黎、矢澤優太郎)

○女子団体／①東農大三(鷺見ひなの、岡野桃子、江尻歩実、鈴木真菜、高岡真帆、益子伽菜子、杉沼菜々子)②大宮光陵(島田菜月、菊池和叶、折原 美和、田内亜実、柴野香奈、笠置毬乃、秦 唯帆)③岩槻商業(田邊優美、京野雛乃、石田 愛、岡崎 遥香、河野志織、塚田 舞、菅原奈那)④大宮南(永安朱夏、島村奈月、田中 芽、春日奈々子、圓子 玲奈、村取美紅、鈴木花野)

○男子個人／①上杉 力(岩槻商業)②成川侑希(東農大三)③小池隆志(寄居城北)

○女子個人／①折原美和(大宮光陵)②高岡真帆(東農大三)③田邊優実(岩槻商業)

※男女団体各1位、男子個人2、3位(1位は団体出場のため繰り上げ)女子個人1、3位(2位は団体出場のため繰り上げ)は本大会出場

●紫灘旗全国高校遠的弓道大会県予選会

平成28年6月26日(日) 県立武道館

参加男子24校 女子22校

○男子団体／①岩槻商業(上杉 力、関根直樹、塚田大斗、金子翔太)②西武文理(勝呂彰羅、矢部響貴、水村亮太、関沢克仁)③浦和(前原栞太、増田拓馬、丸山 巧)④川越総合(阿部真弥、佐藤春夢、田中大地、岩田 琳)

○女子団体／①大宮南(島村奈月、永安朱夏、春日奈々子、中根帆乃華)②岩槻商業(石田 愛、京野雛乃、田邊優実、河野志織)③大宮光陵(島田菜月、柴野香奈、折原美和、菊池和叶)④川越総合(村上佑香、小山紫織、佐藤友香、相澤彩里)

※男女各上位4校(岩槻商業は男女とも推薦出場のため)と推薦出場の男子浦和北、坂戸西、寄居城北は本大会に出場

●平成28年度全国高等学校総合体育大会 第61回全国高等学校弓道大会

平成28年8月3日(水)～6日(土) 鳥取県立武道館特設弓道場

○女子個人 4位折原美和(大宮光陵)

●第18回紫灘旗全国高校遠的弓道大会

平成28年8月20日(土)21日(日)

福岡県久留米市総合スポーツセンター特設会場

○男子団体 準優勝 浦和(前原栞太、増田拓馬、丸山 巧、田村龍哉)⑤坂戸西(新井京太、森田涼介、原 駿太、栩原潤也)⑤岩槻商業(関根直樹、金子翔太、塚田大斗、山根快斗)⑤川越総合(阿部真弥、佐藤春夢、田中大地、岩田 琳)

○女子団体 準優勝 大宮光陵(笠置毬乃、菊池和叶、柴野香菜、菅村優希)

※男子浦和、坂戸西、岩槻商業、女子大宮光陵は来年度推薦出場

●第71回国民体育大会関東ブロック大会

平成28年8月21日(日) 山梨県小瀬スポーツ公園武道館弓道場

○少年男子 上杉 力(岩槻商業)、会田一真(坂

戸西)、成川侑希(東農大三) 監督坂本 修(深谷第一) コーチ 古岡大路(坂戸西)

○少年女子 島田菜月(大宮光陵)、井上結衣(伊奈学園)、折原美和(大宮光陵) 監督 安田康一(大宮光陵) コーチ 鎌塚尚子(伊奈学園)

男子 近的7位 遠的7位 総合8位

女子 近的4位 遠的5位 総合5位

●関東個人選手権選抜大会県予選会

平成28年8月24日(水) 女子参加者468名
25日(木) 男子参加者450名 大宮公園

○女子個人／①高橋陽佳(草加西)②與儀明日香(鳩ヶ谷)③折原美和(大宮光陵)④播磨知香(浦和一女)⑤田邊優実(岩槻商業)⑥井上結衣(伊奈学園)⑦大沼愛花(熊谷農業)⑧徳光晴奈(大宮東)⑨金子明日香(星野)⑩柳橋初音(大宮東)⑪上野美穂(所沢商業)⑫志村安美(羽生実業)

○男子個人／①森 龍治(狭山清陵)②永廻亮(大宮南)③遠藤颯人(大宮光陵)④塚田大斗(岩槻商業)⑤新井遥騎(飯能)⑥濱 颯人(星野)⑦新井功太郎(浦和北)⑧杉田快斗(川越)⑨水村亮太(西武文理)⑩鈴木興紀(東農大三)⑪青山皓平(浦和)⑫後藤駿之介(春日部)

※男女各12名が本大会に出場

●第35回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会

平成28年9月10日(土)11日(日)

○男子個人／⑦杉田快斗(川越)

○女子個人／③高橋陽佳(草加西)④折原美和(大宮光陵)⑤大沼愛花(熊谷農業)

●新人大会 兼 県体

平成28年10月1日(土) 女子423名、2日(日) 男子427名、大宮公園弓道場

○女子団体／①岩槻商業A(田邊優実、岡崎遥香、河野志織、石田 愛)②坂戸西A(牧野凧沙、安藤穂乃香、村田瑞季、添田みく)③市立浦和A(坂倉佑香、大井絵里可、柴田真衣、山田彩夏)

○女子個人／①田邊優実(岩槻商業)②大井絵里可(市立浦和)③山下莉奈(滑川総合)

○男子団体／①東農大三A(栗原滉大、榎本祥大、平良 陸、伊東和輝)②川越総合B(田中大地、久木野幹生、神山海斗、野口陽輝)③越ヶ谷B(高鹿泰成、秋葉大直、石橋彩人、伊藤弘樹)

○男子個人／①平良 陸(東農大三)②石井俊也(大宮南)③星 翔太(所沢商業)

※男女団体各3校が第16回東日本高校弓道大会に出場

大会・射会入賞記録

●第130回明治神宮奉納遠的弓道大会

平成28年5月3日(日) 明治神宮至誠館第二弓道場

○五段以上の部：③廣松 弘(駒場)、○四段以下の部：②青木 豊、④記内義行

●ねんりんピック県連予選会

平成28年5月10日(火) 埼玉県立武道館 107名参加(県75名 さいたま市32名)

○県代表選手：①池谷 茂(上福岡)、②金子美知子(久喜)、③亀井恒男(川越)、④風間健次(入間)、⑤岡本好久(越谷)、⑥竹村銀郎(桶川)、⑦綾戸岩雄(久喜)、⑧野川智子(上尾)、○さいたま市代表選手：①小石久枝(記念)、②川合儉司(大宮)、③須原 暢(大宮)、④廣松 弘(駒場)、⑤蓮見文子(駒場)、⑥小澤伸江(大宮)、⑦辻敏治(岩槻)、⑧浅子好夫(大宮)

●埼玉県弓道選手権大会(称号者の部)

平成28年5月21日(土) 埼玉県立武道館 156名参加

①綾戸岩雄(久喜)、②高橋好照(上尾)、③増田裕子(所沢)、④西崎明伸(入間)、⑤森 正一(蕨)

○全弓連会長盾決定戦：下田 徹(所沢)

●埼玉県弓道選手権等大会(有段者の部)

平成28年5月22日(日) 埼玉県立武道館 163名参加

◎四・五段の部／①西山 茂(上尾)、②武田健太郎(朝霞)、③辻 敏治(岩槻)、④西脇正行(吉川)、⑤古澤知己(狭山)、◎三段以下の部／①藤井澄恵(越谷)、②吉川 唯(日高)、③廣川雅英(越谷)、④岩崎康夫(桶川)、⑤池田義人(久喜)

○全弓連会長盾争奪戦：千葉なつき(吉川)

●第51回全日本女子弓道大会(東日本の部)

平成28年5月29日(日) 神奈川県立武道館

○称号の部：⑤渡部恵理子(上尾)

●第28回埼玉県実年者弓道選手権大会

平成28年6月1日(水) 埼玉県立武道館 146名参加

①大西三枝子(越谷)、②坂東富士夫(毛呂山)、③岡本好久(越谷)、④村上広子(上尾)、⑤根本武次郎(北本)

●第63回全日本勤労者弓道選手権大会

平成28年6月10日(金)～6月12日(日) 愛媛県総合運動公園弓道場

(出場)CKE埼玉(片山磨生男、篠原 智、山口智史、)ホンダ埼玉(伊藤隆司、鈴木真人、和田秀之)

●第12回女子部遠的弓道大会

平成28年6月12日(日) 県立武道館 98名参加

○有段者の部：①初古麻里奈(川口)、②中村尚美(越谷)、③吉田恵子(熊谷)、④木内曉子(吉川)、⑤小澤伸江(大宮)、○称号者の部：①市川政子(入間)、②増田裕子(所沢)、③小林安子(岩槻)、④加藤祐子(記念)、⑤鷹巣光子(駒場)、○会長賞：市川政子(入間)

●第28回埼玉県弓道遠的選手権等大会

平成28年7月3日(日) 埼玉県立武道館 152名参加

◎五段以上／○男子：①粕谷吉一(所沢)、②鈴木真人(朝霞)、③千葉秀明(毛呂山)、○女子：木内曉子(吉川)、②松永芳栄(駒場)、③鈴木多恵子(吉川)

◎四段以下／○男子：①長井敦史(熊谷公園)、②青木豊(行田)、③西屋優樹(川越)、○女子：①千葉なつき(吉川)、②中村尚美(越谷)、③北村弘子(狭山)

○総合優勝：(各部門優勝者による射詰)：長井敦史(熊谷公園)

●第15回明治神宮崇敬会全国弓道大会

平成28年7月17日(日) 明治神宮至誠館第二弓道場 参加180名

◎団体戦：③埼玉県Fチーム、(室町純子、平船栄治、簡野肇平)、◎個人戦：○三段以下の部 ②原田昌彦(駒場)、④佐野正和、○四・五段の部 ②小澤伸江(大宮)、○称号の部 ①室町純子(志木)

●第59回三県選抜弓道大会

平成28年7月31日(日) 埼玉県立武道館 84名参加

◎団体／(県対抗)：①栃木県(86中、57.3%)、②群馬県(72中、48%)、③埼玉県(70中、46.7%)

◎個人／○3段以下：②池田義人、③廣川雅英、○称号者：②西崎明伸

○国体男子：②昆 佑樹、○国体女子：①昆恵梨香、②室町純子、○特別参加者：②浅野有三、③本橋民夫

●第70回国民体育大会関東ブロック予選会

平成28年8月21日(日) 山梨県小瀬スポーツ公園武道館弓道場

◎少年男子／監督：坂本 修(深谷第一)、コーチ：古岡大路(坂戸西)、選手：上杉 力(岩槻商業)、会田

一真（坂戸西）、成川侑希（東京農大三）

◎少年女子／監督：安田康一（大宮光陵）、コーチ：鎌塚尚子（伊那学園）、選手：島田菜月（大宮光陵）、井上結（伊那学園）、折原美和（大宮光陵）

◎成年／総監督：瀧上三郎（吉川）

◎成年男子／監督：廣松 弘（駒場）選手：昆 佑樹（川口）、鈴木真人（朝霞）高木 渡（狭山）

◎成年女子／監督：鹿野信恵（越谷）、選手：室町純子（志木）、昆恵梨香（川口）、千葉なつき（吉川）

●第 54 回埼玉県勤労者弓道選手権大会

平成 28 年 9 月 4 日（日）埼玉県立武道館 256 名（86チーム）参加

○団体の部：①与野 A（玉井京太郎、戸部博貴、永江悠暉）、②こまば A（長安博之、秋山貴美雄、廣川哲次）、③朝霞 A（工藤 勉、吉田沢美、大塚 進）、④本庄 A（岡芹文一、飯塚光生、岡芹喜行）、○個人の部：①仲田孝雄（上尾）、②大塚 進（朝霞）、③関 武夫（日高）、④村社計寿（草加）、⑤安野雄次（小川）、⑥中島幸子（大宮）、⑦北村邦男（毛呂山）、⑧鈴木真人（朝霞）、⑨馬場信真（熊谷公園）、⑩永江悠暉（与野）、○技能賞の部：吉田沢美（朝霞）、永江悠暉（与野）

●第 67 回全日本男子弓道選手権大会

平成 28 年 9 月 16 日（金）～ 18 日（日）全日本弓道連盟中央道場

出場選手：町田文利（横瀬）、青田 昇（朝霞）、西崎明伸（入間）、○入賞：④西崎明伸（入間）

●第 49 回全日本女子弓道選手権大会

平成 28 年 9 月 18 日（日）～ 20 日（火）全日本弓道連盟中央道場

出場選手：吉本かをる（新座）、市川政子（入間）、清水繁子（岩槻）、予選通過：清水繁子（岩槻）

●第 29 回埼玉県民総合体育大会【一般の部】

平成 28 年 9 月 25 日（日）埼玉県立武道館 248 名参加（84 チーム）

◎女子の部／○近的団体：①県南 B（大西三枝子、昆恵梨香、初古麻里奈）、②鴻巣 A（奈良久美子、武藤秀子、荻原明美）、③春日部 A（遠藤則子、奥山和美、細野とも子）、○遠的団体：①県南 A（千葉なつき、記内順子、木内曉子）、②県南 C（中村尚美、沼沢睦美、藤井澄恵）、③さいたま市 B（武政宏美、松田栄子、由岐中美智江）○近的個人：①奥山和美（春日部）、②千葉なつき（吉川）、③荻原明美（鴻巣）、○遠的個人：①中村尚美（越谷）、②千葉なつき（吉川）、③金子節子（駒場）

◎三段以下の部／○近的団体：①秩父市（浜田裕輔、引間大雅、黒沢淳子）、②県南 D（神 清貴、志賀千夏、廣川雅英）、③狭山 A（武田宜久、大石泰彦、谷川俊治）、○遠的団体：①熊谷 B（小島玄二、関口純子、坂本温見）、②横瀬町（高橋和彦、藤本 健、笠原甲子和）、③久喜 A（池田義人、猪俣修平、黒木裕孝）、○近的個人：①引間大雅（秩父）、②浜田裕輔（秩父）、③廣川雅英（越谷）、○遠的個人：①廣川雅英（越谷）、②小島玄二（熊谷公園）、③藤本 健（横瀬町）

◎四・五段の部／○近的団体：①久喜 C（千葉修平、高野 聖、新里 陵）、②さいたま市 G（田中祥実、田中智久、片山磨生男）、③熊谷 D（長井敦史、関口尚人、馬場信真）、○遠的団体：①県南 G（村永政志、宮崎正範、昆 佑樹）、②さいたま市 H（永江悠暉、長安博之、辻 敏治）、③熊谷 C（三澤一夫、高橋茂子、鎌塚宏紀）、○近的個人：①馬場信真（熊谷公園）、②遠田弘志（幸手）、③長安博之（駒場）、○遠的個人：①宮崎正範（吉川）、②工藤 勉（朝霞）、③長井敦史（熊谷公園）

◎称号者の部／○近的団体：①所沢 Q（石川淳子、増田裕子、松嵩 昇）、②北本 D（松本瑞世、吉丸 寛、根本武次郎）、③所沢 S（粕谷吉一、篠原一郎、永島英男）、○遠的団体：①日高・小川（安野雄次、井上 薫、井上昇午）、②所沢 P（熊井紀一、平山夏子、下田 徹）、③所沢 S（粕谷吉一、篠原一郎、永島英男）、○近的個人：①下田 徹（所沢）、②粕谷吉一（所沢）、③石川淳子（所沢）、○遠的個人：①加藤睦正（戸田）、②熊井紀一（所沢）、③守屋 豊（小澤道場）

●第 57 回関東地域弓道選抜選手権大会

平成 28 年 9 月 11 日（日）茨城県立武道館弓道場

◎称号：④浅野有三（記念）、⑤岡芹喜行（本庄）

●第 40 回埼玉弓連女子部弓道大会

平成 28 年 10 月 16 日（日）272 名参加 埼玉県立武道館

○参段以下の部：①大橋範子（和光）、②森下珠美（所沢）、③山本さおり（入間）、④大垣朋子（久喜）、⑤鈴木美奈（久喜）、○四・五段の部：①千葉なつき（吉川）、②昆恵梨香（川口）、③桑原 忍（川越）、④櫻井三恵（大宮）、⑤鈴木佳枝（大宮）、○称号の部：①市川政子（入間）、②松嵩恭子（所沢）③馬場久恵（北本）、④鷹巣光子（駒場）、⑤長瀬きよ子（富士見）、○知事杯：市川政子（入間）、○技能賞：昆恵梨香（川口）

●第 67 回全日本弓道遠的選手権大会

平成 28 年 10 月 21 日（金）～ 23 日（日）全日本弓道連盟中央道場

男子出場選手：馬場信真（熊谷公園）、片山磨生男（岩槻）、粕谷吉一（所沢）、予選通過：粕谷吉一（所沢）

女子出場選手：小野千絵美（記念）、鈴木多恵子（吉川）

●第 131 回明治神宮奉納全国弓道大会

平成 28 年 11 月 3 日（木・祭）明治神宮武道場至誠館弓道場

○称号の部：①室町純子（志木）、③上水流敦子（記念）、⑧鈴木昭一（大宮）



秩 父 支 部

支部長 守屋 豊

我が町の誇れる武道場の完成

小鹿野町弓道会会長 石田 徳光

前回ご案内いたしました新弓道場は、本年8月31日(水)に完成いたしました。弓道場は、剣道・柔道と同じ屋根の一角に位置し、小鹿野町武道場として三道の大会の同時開催も可能となりました。



武道場全景

9月18日(日)に道場開きの実施となり、町長・議長・体育協会会長・三道の代表はじめとした関係者によりテープカット及び小鹿野町武道場開き式典が行われました。引き続き弓道の矢渡、柔道・剣道の型の模範演技の一般公開が実施されました。



テープカット

武道場の利用開始は、10月1日(土)からとなり小鹿野町三道大会として剣道と柔道部会の大会を実施しました。当日弓道部会は開会式

に参加をし、その後初の練習会を行いました。弓道部会の大会については、運営の都合により11月3日(木)文化の日に開催する予定となっています。

また、小鹿野町は福祉やスポーツなどを推進し、健康で生き生きとした町づくりに取り組んでいます。この武道場については、三道はもちろんのこと、様々な利用なども可能として多くの町民の方々の利用促進を考えています。



弓道場・射場から安土

弓道場は、6人立ちの広々とした射場となり、矢渡や大会の運営に大変ゆとりをもって行えるようになりました。また、共用の更衣室・トイレやトレーニングスペースなども完備され充実した武道場として他に誇れるとても立派なものとなりました。

この武道場が完成したのは、三道の多くの諸先輩の積み重ねられた実績があり、完成に至ったものと思います。感謝をすると同時に、この施設が有効活用され、意義あるものとするためにもしっかりと活動をしなければならないと感じているところであります。

現在小鹿野町弓道会は、会員数が30名ほどであり、新たな会員の募集に努力しています。平成27・28年と続けて弓道教室を開催したところ、10名を超える方々が参加をし、新たな会員として入会が進んでいるところとなっています。

高齢化の進む中で若い方々の練習風景が見られるようになり、活気が出てきました。今後も一層の新たな会員の募集に努力を重ね、町の目指す生き生きとした町づくり、健康な町づくりにつとめたいと考えています。

県北支部

支部長 高橋 久雄

飯島千代子先生のエピソード

飯島千代子先生の範士昇格は県北支部としても大変喜ばしいことです。これをお祝いして、今回特に、先生と関わりの深い人達からエピソードを頂戴しましたのでご紹介します。

・ep1：先生は、時には一日中他の講習会に行かれても、夜稽古にいらっしゃることがよくあります。お疲れでしょうけれど、そんなそぶりも見せず笑顔で接して下さり、私達も先生のお顔が見えると大変嬉しいばかりです。

・ep2：先生は、深谷市内の高校生の体配と射技が出来ていないことを気に掛けられ、5年程前から、先生を中心に会員皆で、“ふっかちゃん弓道錬成大会”という坐射で行なう錬成会を始めました。試行錯誤の連続ですが、参加した高校生から「坐射の体配をきちんとできて良かった」、「部活で後輩に指導していきたい」などの声が聞こえ、大いに成果が出てきています。

・ep3：先生がまだ高校生のとき、朝練、昼練、放課後練習とほぼ毎日練習を行っていました。勿論昼食も道場で食べていて、弓道漬けの高校時代でした。先輩が少なかった為、高校二年のときは大会に参加できる機会が多く、いま振り返ると、仲間と切磋琢磨し射を磨いていた時代だったと思います。

・ep4：中央審査の昇格者に、支部で『会』の姿を写真に撮りお祝いします。撮影会には、ご夫妻で見えられ、ご主人が撮影の助言をされていました。また仲良くお二人での記念写真も撮られました。飯島家ではご家族全員が先生を応援し、先生はご主人への感謝、家族への感謝をいつも滲ませています。

以上、飯島先生の弓道への思いや、人柄の一端が伺える逸話でした。なお、県北支部では範士の先生が、松沢 岳先生、飯島千代子先生と2人になられ、恵まれた支部と言えます。これを機会に我々も更なる向上を目指して稽古に励みたいと思います。

<競技・講習会>

●第一回支部講習会（四段以下）

平成 28 年 5 月 14 日（土）寄居町立アタゴ記念館弓道場 参加 50 名

講師：飯島千代子教士、戸塚藤代教士

内容：一手審査方式、基本の動作、射技指導等

●第二回支部講習会（二段～四段）

平成 28 年 8 月 28 日（日）熊谷運動公園弓道場
参加 53 名

講師：岡田義助教士、市川政子教士

内容：一手審査方式、伝達事項、射技指導等

●第一回支部練成会

平成 28 年 6 月 25 日（土）寄居町立アタゴ記念館弓道場 参加 33 名

講師：飯島千代子範士、戸塚藤代教士

内容：矢渡、介添、失の処理、射技指導等

●第二回支部練成会

平成 28 年 9 月 17 日（土）行田市弓道場
参加 33 名

講師：松沢岳範士、岡芹喜行教士、正能正三教士

内容：一手審査方式、伝達事項、射技指導、一つの射礼等

●第一回支部カップ戦

平成 28 年 6 月 5 日（日）本庄市弓道場
参加 116 名、39 チーム

団体①熊谷公園：高木行治、長井敦史、茂木昭夫

②深谷：橋本和也、片岡眞利、會田春樹

個人一部①大塚元治、②岡芹喜行、③高木行治

二部①長井敦史、②馬場信真、③山田 昇

三部①片岡眞利、②掛田春雄、③堀江匡明

●第二回支部カップ戦

平成 28 年 7 月 17 日（日）熊谷運動公園弓道場
参加 127 名、42 チーム

団体

①熊谷公園：高木行治、長井敦史、松本信一郎

②熊谷公園：関口尚人、関口淳子、坂本温見

個人一部①松本信一郎、②高橋久雄、③筑井真一

二部①長井敦史、②矢木研三、③中唯志

三部①坂本温見、②片岡眞利、③押切幸雄

●第 103 回県北高校弓道大会

平成 28 年 8 月 18 日（木）熊谷運動公園弓道場
参加 15 校 285 名（男子 141 名、女子 144 名）

男子優秀校：寄居城北高校

女子優秀校：深谷第一高校

男子①小池隆志、②森田達也、③関口大成

女子①大沼愛花、②関口瑳月、③長谷川千紘

東 部 支 部

支部長 小林 次雄

28 年度東部支部上期活動報告

新年度がスタートし支部行事も順調に推移しています。5月に行われた埼玉県選手権、称号者の部、翌日の有段者四・五段の部さらに9月の勤労者大会、県民体育大会では、四・五段の部で団体優勝、女子の部でも皆中で個人優勝と支部代表の各選手が目覚ましい活躍をされているのは埼玉連ホームページに掲載されている通りです。各支部から選抜された選手の皆さんが緊張の中「一射」に心を込めて臨まれる姿は、自ら道場で矢数をかける以上に得難い見取稽古になるのではないのでしょうか。寒い季節に向かいますが是非、武道館に来て応援しましょう！お知らせがあります。ご夫妻で仲良く弓を引かれていた杉戸弓道連盟会長の新島尚人先生（享年77歳）が7月8日に亡くなりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

（文責：大西 いづみ）

< 競技・講習会 >

●関東高等学校弓道大会県予選会

平成28年4月23日（土）、24日（日）大宮公園弓道場○団体◇男子3位：春日部A 榊原 奎亮、南 孝輝、河野 大、岩野 芳隆（第60回関東高等学校弓道大会に出場）○個人◇男子3位：春日部：榊原 奎亮

●学校総合体育大会兼全国高校総体弓道競技

埼玉県予選 平成28年6月11日、12日、18日 大宮公園弓道場 ○団体◇男子3位：杉戸農業高等学校、岡田 佳樹、吉永 孝行、成田 雅哉、高杉 誠也、石井 輝、林 幹太、堀 佑輔

●東部支部選手権兼県体予選会

平成28年7月17日（日）大宮公園弓道場 参加155名○個人／①高橋 好照（上尾）②細野 隆志（春日部）③高野 聖（久喜）

○県体出場選手／◇女子：春日部A（遠藤 則子、奥山 和美、細野 とも子）春日部E（谷澤 聖子、山口 侑子、戸叶 好代）上尾C（山ノ内 昭子、野川 智子、濱田 直子）◇三段以下：久喜C（高橋 俊、三矢 正美、望月 衛）幸手B（今田 光弘、高橋 均、渡辺 健一）久喜D（猪又 修平、池田 義人、黒木 裕考）◇四・五段：久喜E（千葉 脩平、高野 聖、新里 陵）宮代B（菱谷 隆、下山

宗杜、新井 雅枝）幸手E（岡田 学、遠田 弘志、山口 賢一）◇称号：春日部I（細野 隆志、川口 光弘、二見 富士夫）幸手F（富野 武彦、鈴木 さち子、沼尻 忠雄）北本D（松本 瑞世、吉丸 寛、根本 武次郎）

●東部支部道場対抗戦兼武道大会予選会

平成28年9月19日（月）大宮公園弓道場 参加106名○東部支部道場対抗戦：①：宮代町弓道連盟、②：北本市弓道連盟、③：幸手市弓道連盟○団体戦：①北本B（齋藤 幾央、西崎 利弘、根本 武次郎）②幸手A（今田 光弘、渡辺 健一、森谷 秀哉）③北本C（山崎 朋美、馬場 久恵、北原 きい子）*個人戦の部（団体入賞の個人を除く）：①幸手（澤村 智子）、②春日部（遠藤 則子）、③宮代（新井 雅枝）

●第1回講習会（弐段以下の部、参・四段の部）

平成28年5月8日（日）大宮公園弓道場 参加41名 講師：支部内称号者 内容：審査の要領での行射、講義（基本体、射法八節、体配、マナー）、体配、射技指導

●第2回講習会（弐段以下の部、参・四段の部）

平成28年7月9日（土）大宮公園弓道場 参加27名 講師：支部内称号者 内容：基本体（平成28年度全弓連指導方針の項目）、入退場、審査の要領での行射、射法八節図解説明、肌脱ぎ・襷さばき、射技指導

●第3回講習会（五段以上の部）

平成28年7月24日（日）大宮公園弓道場 参加39名 講師：飯島 千代子範士、根本 武次郎教士 内容：矢渡・介添、平成28年度全弓連指導項目、審査の要領での行射、持的射礼、一つの射礼、射技指導

●第4回講習会（高校生の部）

平成28年8月7日（日）県立武道館弓道場 参加122名 講師：支部内称号者 内容：基本の姿勢、基本の動作、入退場、本座および射位での作法、審査の要領での行射、射技指導

●第5回講習会（弐段以下の部、参・四段の部）

平成28年9月3日（土）大宮公園弓道場 参加31名 講師：岡芹 喜行教士、支部内称号者 内容：基本の姿勢、基本の動作、射法八節、審査の要領での行射（以上は弐段以下）、介添、審査の要領での行射個人別評価（以上は参・四段のみ）、射技指導



県南支部

支部長 谷口 保雄

蕨市弓道連盟創立 35 周年記念祝賀会

蕨市弓道連盟 吉田 眞吾

2016 年夏、ブラジルリオ五輪柔道日本代表選手たちのメダルラッシュのニュースが飛びかっていた 8 月 14 日、さいたま市中央区新都心“ホテルブリランテ武蔵野”にて、蕨市弓道連盟創立 35 周年記念祝賀会が盛大に挙行されました。

蕨市弓道連盟の沿革について簡単にご紹介致しますと、歴史は古く昭和 23 年日本武道が解禁された後、蕨市内に私設道場が 2 か所、更に日本車両の工場体育館内にも 5 人立ちの道場が建設され、昭和 45 年には蕨市消防署訓練場脇に 3 人立ちの道場を建設し消防署員、市役所職員、警察署員計 23 名をもって日々稽古に励んでおりました。その後蕨市役所弓道部、大日本インキ弓道部、第 1 回蕨市弓道教室終了者の合計 45 名をもって、昭和 56 年に蕨市弓道連盟は創立致しました。また同年 8 月には第 1 回わらび機まつり弓道大会も開催されました。

わらび機まつり弓道大会は、わらび機まつりを冠とした射会で、射会のあとの親睦会を楽しみに県南支部やその他の支部の方々が多数ご参加され和気藹々とした雰囲気の中で毎年行われています。お蔭さまで今年は創立 35 周年目を迎え射会を行うべく計画しておりましたが、弓道場がある蕨市民体育館が耐震化工事の為、1 年間使用できず、残念ながら射会は中止せざるをえなくなり、創立記念祝賀会の開催の運びとなりました。

当日は天候にも恵まれ、41 名のご参加を頂き、蕨市長頼高英雄様のご祝辞（代読）をはじめ、ご来賓としてご臨席いただいた蕨市体育協会会長奥田昌利様、埼玉県弓道連盟会長本橋民夫先生のご祝辞、川口市弓道連盟会長坂本恵先生の乾杯のご発声、さらには戸田市弓道連盟会長大竹淑夫先生、草加市弓道連盟会長豊田英子先生にもご祝辞を頂戴し、その後各円卓では老若男女熱い弓道談議に花が咲きあつという間の 2 時間の祝宴となりました。

当日はお忙しい中ご参加頂いた皆様方には蕨市弓道連盟より厚く御礼申し上げます。来年の機まつり弓道大会には多数の皆様のご参加をお待ちしております。

< 競技・講習会 >

●平成 28 年度県南支部選手権大会

平成 28 年 5 月 29 日（日）大宮公園弓道場
参加者 107 名①西脇正行（吉川）②岡本好久（越谷）③江島勝治（越谷）

●平成 28 年度県南支部優勝杯戦

平成 28 年 7 月 18 日（月祝）県立武道館 参加 113 名 近的団体①越谷 D（大西、廣川、太田）②越谷 F（下村、落合、鹿野）③川口 H（尾崎、緒方、福井）

近的個人①鋒城直子（草加）②記内順子（蕨）③千葉なつき（吉川） 遠的個人①千葉なつき（吉川）②昆 佑樹（川口）③昆恵梨香（川口）

●第 1 回講習会（三・四段の部）

平成 28 年 4 月 3 日（日）県立武道館
参加 30 名 講師：浅野光子教士、森 正一教士、大竹淑夫教士

●第 1 回講習会（貳段以下の部）

平成 28 年 4 月 24 日（日）県立武道館
参加 32 名 講師：根本武次郎教士、坂本恵教士、鈴木多恵子教士、

●第 2 回四段以下講習会

平成 27 年 5 月 5 日（水・祝）大宮公園弓道場
参加 70 名 講師：飯島千代子教士、瀧上三郎教士、鹿野信恵教士、廣松 弘教士、出下晃一郎教士

●県南支部弓道講座

平成 28 年 7 月 13 日（水）県立武道館第三会議室 参加 33 名 講師：坂本武彦教士
講習内容：弓道の目的と道具の選び方等

●第 1 回高校生講習会（2 会場）

平成 28 年 7 月 30（土）大宮公園弓道場
参加 45 名 講師：寶田秀子教士、加藤睦正錬士、五十川英俊錬士、二宮三千子錬士、深井 學錬士、佐藤恙子錬士、

平成 28 年 7 月 31 日（土）大宮公園弓道場
参加 44 名 講師：大竹淑夫教士、稲見美枝子錬士、荻谷道子錬士、熊木幸夫錬士、三井秀美錬士、西澤祐樹錬士、

講習会は各段位に合わせた講習内容を実施

●県南東部高校生選手権大会

平成 28 年 8 月 28 日（日）大宮公園弓道場
審判員 谷口保雄教士 宮澤梢枝錬士



県 央 支 部

支部長 浅子 好夫

28 年度上半期活動報告

28 年度上半期の支部事業は、予定通り実施され、講習会 6 回、県民体育大会・武道大会選考会 3 回、夏季高校生大会兼武道大会選考会、ねんりんピック錬成会 5 回が行われました。

4 月 17 日に行われた称号者講習会は、大宮公園弓道場に、全日本弓道連盟前会長の範士九



段石川武夫先生を講師に迎え、受講者 48 名で実施されました。

先生には、肌脱ぎ、手の内、大三の取り方、引分け方など体配、射法について、運行を実際に示しながら、細部に亘って説明をいただきました。



した。

また、個別の射技指導では、講習会の予定時間を越えてまでの熱心な指導で、受講者一同先生に感謝の気持で講習会を終了しました。

競技会では、支部内高校生（中学生）の夏季弓道大会兼武道大会選考会がありました。例年 600 名近くの参加者があり熱戦が繰り広げられています。

28 年上半期の昇段昇格者は、初段 40 名、二段 13 名、参段 12 名、四段 2 名、五段 2 名、錬士市川美和子先生、大内有紀江先生の 2 名、六段飯島 功先生、荒井 涉先生の 2 名、教士中國防子先生、山中茂夫先生の 2 名 合計 75 名でした。（文責：古泉利昭）

< 競技・講習会 >

● 県民総合体育大会選手候補者選考会

平成 28 年 6 月 26 日（日）大宮公園弓道場
参加 84 名 選手候補者を選出

● 武道大会選手候補者選考会

平成 28 年 7 月 18 日（日）大宮公園弓道場
参加 57 名 選手候補者を選出

● 夏季高校生（中学生）大会兼武道大会選考会

平成 28 年 8 月 19 日（金）大宮公園弓道場 参加 589 名 ○団体男子／①浦和西 A（大平・前田・田路）、②埼玉栄 A（金子・内山・千葉）、③浦和西 B（井上・渡邊・大川）、○団体女子／①浦和西 A（廣瀬・油谷・工藤）、②市立浦和 G（坂倉・大井・柴田）、③浦和東 A（石崎・大内・伊藤）、○個人男子／①遠藤洗亮（市立浦和）、②寺田陸人（与野）、③村田空知（大宮南）、○個人女子／①伊藤沙織（浦和東）、②矢野千夏（浦和一女）、③油谷樹乃（浦和西）、中学生個人の部／①福宮亜衣琉（埼玉栄中）、②板谷栞里（市立浦和中）、③井上莉佳（浦和実業中）

● 県民総合体育大会選手候補者最終選考会

平成 28 年 8 月 27 日（土）大宮公園弓道場
参加 46 名 36 名の選手を決定

● 称号者講習会

平成 28 年 4 月 17 日（日）大宮公園弓道場
参加 48 名 講師：石川武夫範士 講習内容：一手行射、石川武夫範士の演武と解説、射技指導

● 四段以下講習会

平成 28 年 4 月 29 日（金）県立武道館弓道場
参加 90 名 講師：正能正三教士、戸塚藤代教士、鷹巣光子教士、勅使河原隆教士、軽込次男教士、鈴木幸子教士 講習内容：一手行射と主任講師の総評、入退場・肌脱ぎ・櫛さばきの講習

● 参・四段講習会

平成 28 年 5 月 29 日（日）大宮武道館弓道場
参加 29 名 講師：浅野有三教士、松澤かおり教士、平野博幸教士 講習内容：体配解説・実技研修・一手行射、八節の解説、射技指導

● 二段以下講習会

平成 28 年 5 月 29 日（日）大宮公園弓道場
参加 61 名 講師：岡田義助教士、山崎孝美教士、片岡一子教士 講習内容：入退場の練習、一手行射、主任講師による両手の内、大三の基礎について指導、射技指導

● 二段以下講習会

平成 28 年 9 月 10 日（土）大宮武道館弓道場
参加 50 名 講師：岡田義助教士、松澤かおり教士、吉田恒夫教士 講習内容：一手行射と主任講師の講評、射技指導

● 参・四段講習会

平成 28 年 9 月 10 日（土）大宮公園弓道場
参加 40 名 講師：浅野光子教士、古泉利昭教士、中島美佐子教士 講習内容：二射場で一手行射、主任講師の総評 基本体、基本動作の研修、射技指導

西部支部

支部長 森川 寛人

三芳町弓道連盟での活動状況

三芳町弓道連盟 会長 加藤 憲男

三芳町弓道連盟では、会員数 50 名程の小規模の連盟ですが、全員が射技の習得のみでなく色々な所作を覚えるため、当連盟指導委員会を中心に勉強の場を設けております。

1. 射手、第一介添、第二介添を各自に覚えて貰うため総会に於いて翌年度の各月の幹事を確定します。

自分の担当月迄に先生に教示を受け完璧とまでは行きませんが皆の前で恥ずかしくない動作が出来るよう練習に励んでいます。

又、西部支部の介添担当月が確定した場合は、事前に担当者を確定し動作が出来るよう当日まで猛練習します。

誰もが介添動作を覚える必要があるため、そのように対応しております。

2. 西部支部での役割分担が進行、的前になることがあります。遠近競射、射詰め競射の時の進行の動作、的前の動作習得のため事前に連盟内で講習会を実施し、対応出来るように努力しております。

3. 和服の着用は、四段受審者が対象になりますが、三芳町弓連では、段位を問わず、日々の稽古に和服着用を率先し肌脱ぎ、肌入れ、襷さばきの練習を実施しております。

会員の皆さんに多くの所作を覚えて貰うため連盟内で活気ある活動をしております。

<競技・講習会>

●中西部親善射会

平成 28 年 7 月 18 日 (月祝) 日高アリーナ

参加：西部 112 名、中部 84 名、計 196 名

①松本献一 (中部：鶴ヶ島)②佐野一義 (中部：狭山)③沼倉光広 (中部：日高)

的中率、西部 32.6%、中部、35.4%

●平成 28 年度西部支部読売新聞さいたま支局杯兼県体予選兼寿射会

平成 28 年 8 月 7 日 (日) 所沢市民武道館弓道場

参加 190 名、(63 チーム・個人参加 1 名)

○読売杯／①松久哲也 (朝霞)②池谷 茂 (上福岡)③粕谷吉一 (所沢)○寿射会／◇寿 A の部：

①下田 徹 (所沢)②野沢晴江 (上福岡)③山口正彦 (所沢)◇寿 B の部：①渡邊 豪 (上福岡)②甲斐久歳 (所沢)③鈴木千代子 (志木)○県体予選通過チーム／◇女子の部：所沢 J (中村康代・土井恵美子・澤田靖子) 所沢 K (奥富季乃・徳丸久美子・三好啓子) 所沢 H (深見恵子・田中明子・黒木宝子)◇三段以下の部：富士見 D (於保不二雄・飯塚修三・山崎文男) 上福岡 A (村上隆・島村正男・渡邊 豪) 新座 B (小川雄三・山田浩二・大熊正行)◇四・五段の部：朝霞 B (松久哲也・工藤 勉・道枝治彦) 所沢 E (藤田 良・廣瀬雅孝・水口 清) 所沢 D (中村徳海・小林孝則・飯尾 弘)◇称号の部：所沢 Q (石川淳子・増田裕子・松崎 昇) 所沢 P (熊井紀一・平山夏子・下田 徹) 所沢 S (粕谷吉一・篠原一郎・永島英男)

●第 24 回西部支部選手権大会兼県武道大会予選

平成 28 年 9 月 3 日 (土) 所沢市民武道館弓道場

参加 166 名 (49 チーム・中学生 17 名・個人 2 名)○支部選手権／◇団体戦：①上福岡 D (豊田 愼・齋藤安次・池谷 茂)②ホンダ (松久哲也・鈴木真人・和田秀之)③新座 A (ビドウ

シュリ・ビンダハニ・青砥 勉・簡野肇平)③所沢 N (土井政明・関口二郎・中村徳海)◇個人戦：①下田 徹 (所沢)②粕谷吉一 (所沢)③中村徳海 (所沢)○県武道大会選手／◇一般男子：鈴木真人 (朝霞)・和田秀之 (和光)・中村徳海 (所沢)・粕谷吉一 (所沢)・下田 徹 (所沢)◇一般女子：吉田沢美 (朝霞)・野沢晴江 (上福岡)・北濱すみえ (新座)・深見恵子 (所沢)・三好啓子 (所沢)◇中学生個人：和合武蔵・稲葉唯花・豊田琢真・佐々木史弥・青山千佳・齋藤柊菜・尾形 智・石田順之介・沖園史華・西澤智美

●第 1 回支部講習会 (三・四段)
平成 28 年 4 月 17 日 (日) 富士見市弓道場
参加 46 名、講師：市川政子教士、花井俊則教士
内容：午前、一手審査方式、午後、射技体配指導、男子、肌脱ぎ動作指導、女子襷がけ動作指導、全体講評

●第 1 回支部講習会 (二段以下)

平成 28 年 4 月 17 日 (日) 朝霞市弓道場

参加 56 名、講師：鷹巣光子教士、青田昇教士

内容：午前：一手審査方式、午後：射技指導、全体講評

中 部 支 部

支部長 蔦田 富男

●第2回支部講習会（三・四段）

平成28年5月29日（日）三芳町弓道場
参加47名、講師：岡芹喜行教士、斎藤和子教士
内容：午前、一手審査方式、射技体配指導、全体講評。

●第2回支部講習会（二段以下）

平成28年5月29日（日）大井弓道場
参加39名、講師：根本武次郎教士、花井俊則教士
内容：午前、一手審査方式、午後、射技指導、全体講評、講話

●支部女子講習会

平成28年6月26日（日）所沢市民武道館弓道場
参加63名、講師：飯島千代子範士、福田ちえ子教士、吉本かをる教士
内容：午前、一手行射、襷さばき指導。午後、射技指導、仕上げ一手行射

●支部高校生夏期講習会

平成28年8月10日（水）所沢市民武道館弓道場
参加60名、講師：浅野光子教士、森川寛人教士、加藤良子教士
内容：午前、基本の姿勢と動作、入退場、行射の指導、射技指導、午後、入退場、行射の指導、射技指導、全体講評

●第3回支部講習会（二段以下）

平成28年9月10日（日）朝霞市弓道場
参加50名、講師：森川寛人教士、福田ちえ子教士
内容：午前、歩き方、入退場、一手審査方式、午後、射技指導、全体講評

●第4回支部講習会（三・四段）

平成28年10月2日（日）朝霞市弓道場
参加25名、講師：岡田義助教士、斎藤和子教士
内容：午前、一手審査方式、個別講評の後、一手行射。午後、射技体配指導、男子、肌脱ぎ動作指導、女子襷がけ動作指導。



まだまだ現役です

齋藤 清（川越市）89歳 錬士六段

■弓歴は？

警察の外勤だった昭和40年頃から、毎日45口径拳銃を携帯していたので、肩のこりに悩まされていました。同僚の大久



保恒雄さん（現教士六段）から、肩こりには弓道が良いと薦められ、昭和49年10月頃に始めました。当時の会員は鈴木哲郎会長をはじめ10人位でした。川越市弓連では理事長をつとめ、指導や総務の仕事をしてきました。

■弓道を続けてきて良かったことは？

月例会、支部大会、県大会に参加し、競技として楽しんできました。川越市体育協会会長賞もいただきました。優良警察官として本部長賞を受賞した際には祝射会をしていただきました。米寿まで弓が引けたのは、会の皆さんに良く面倒を見てもらったこと、健康であったことと、感謝しています。

■今、大切だと考えていることは？

和があり、皆が楽しいと思える道場・会でありたいのですが、最近は挨拶ができない人がいることが残念です。段の上下を言う前に、基本的な礼儀をつくすということが必要です。

行射中矢が折れて弓手を怪我しましたが、原因は古い矢を使ったことです。古い矢は「の」が乾燥し、からからの状態で弱いので、注意しなければなりません。

審査は自信を持ってから受けた方が良いと思います。先生に相談するのも良いでしょう。私の場合、錬士六段まで審査は9回です。

指導者は、悪いところを注意するだけでなく、良い射が出たら、ほめることが大切です。ほめられれば尚一層修練に励みが出るものです。

指導を受ける方は、同じことを何度も注意されないよう、自分のものになるまで修練するよう心がけることです。

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」この姿勢を大切にしましょう。

沖 深美 (毛呂山町) 83 歳 錬士五段

■弓歴は？

弓は毛呂の奥富八一先生の射を拝見し、感銘を受けたことにより始めました。当時奥富先生は



60歳を超えていましたが23kg位の弓を軽々と引き、鋭い矢勢でほとんどの的中させていたことに圧倒され、毛呂病院の同好会に入りました。

当時は弓は教えるものではないという時代でしたので大変苦労しましたが、四段に合格した時には会場に見えていた奥富先生から「沖さんすごい射だったよ」と言われたことを鮮明に覚えています。一時弓道場が閉鎖された時には弓から遠ざかりましたが、その後毛呂山弓道連盟に入会し現在に至っています。昭和23年ごろに始めましたので足掛け68年程になります。

埼玉医大で30年間弓道を指導するとともに、第34回県民体育大会第3位、第52回関東教職員大会優勝など各種大会、また近隣市町親善射会に積極的に参加しています。

■弓道を続けてきて良かったことは？

長寿は弓のお陰かなと思います。特に腹式呼吸は重要な気がします。弓道は「礼に始まり礼に終わる」と言われますが、精神的にも得るところは多いと思います。弓は一人でもできる点が利点ですが、毛呂は道場内が和やかでいつも皆と楽しんで引いています。

■今、心掛けていることは？

式・参段の頃は、中り中心でしたが、錬士取得後は教本に則った射を心掛けています。理想の射には中々辿り着けませんが気の付いたことは日々直しています。元気なうちは弓を引き続けます。

<競技・講習会>

●県民総合体育大会支部予選

平成28年6月26日(日)日高アリーナ弓道場 参加120名

女子の部 日高A、小川、川越A

三段以下の部 飯能B、坂戸B、狭山C

四五段の部 日高C、狭山E、飯能D

称号者の部 鶴ヶ島B、日高小川、入間E

●第21回中部・西部親善射会

平成28年7月18日(月)日高アリーナ弓道場 参加 中部84名(35.4%)西部112名(32.6%)

1位 松本献一(鶴ヶ島)、2位 佐野一義(狭山)
3位 沼倉光広(日高)

●第16回支部選手権大会

兼 読売新聞さいたま支局杯争奪戦

平成28年7月24日(日)日高アリーナ弓道場

参加 団体49チーム、個人147名

団体1位 日高C(関 竹夫、沼倉光広、井上昇午)、2位 埼玉医大B(海老澤祥太、齋藤暦、沼尻海)、3位 入間B(杉山勝美、金子隆弘、市川政子) 個人1位 沼倉光広(日高)、2位 千葉 公(川越)、3位 安野雄次(小川)

●第1回中部支部講習会

平成28年4月17日(日)日高アリーナ弓道場

参加116名 講師：岡田義助、戸塚藤代 各教士

●第2回中部支部講習会

平成28年7月10日(日)日高アリーナ弓道場

参加63名

講師：玉之内淳、市川政子、畠田富男 各教士

●第3回中部支部講習会

平成28年9月3日(土)川越市運動公園弓道場

参加43名

講師：玉之内淳、畠田富男、水岡勇 各教士

●中部支部特別講習会

平成28年9月24日(土)入間市武道館弓道場

参加24名 講師：松沢 岳 範士 補助講師：玉之内淳、市川政子 各教士

各教士

●女子講習会

平成28年10月1日(土)日高アリーナ弓道場

参加30名 講師：市川政子 教士

弓道懐旧談 第5回(最終回)

「ひかがみ」考

中部支部顧問 玉之内 淳

教士審査一次合格資格が一年間有効であった三十数年前のこと。遂に失格し、捲土重来の意気軒高の稽古がつづく。

審査一週間前の日曜日の稽古中、軽いギックリ腰に見舞われてしまった。腰が曲ると痛みはひどいが、伸ばすとあまり痛みを感じない。歯を食いしばっての中央審査受審で、一次は合格！二次の甲矢は×。乙矢は充分に腰を伸ばし、痛みを感じなくなるまでの縦線…。

六時ぎりぎり(?)の的中で念願の合格。

鶴首待望の教士合格は、ギックリ腰のお蔭で縦線が伸びた結果かと自己評価している。

それから間もなくの講習会で、新米教士が中

嶋榮範士からいただいたコメントは「ひかがみが伸びていませんでしたね」であった。

袴を着け、しかも膝の裏側にあるひかがみの働きまで見透せる慧眼には敬服の至り。

思うに、ギックリ腰の後遺症による縦線の弱い射ではなかったのだろうか。

その年の寒い日の稽古で、矢飛びが悪く、矢所も次第に低くなってきた時のこと。この原因こそ「ひかがみ」にありと自己判断。打起し、大三で縦線に配慮し、会でよーしとひかがみを思いつき伸ばしたその時、ひかがみに激痛が疾駆し、イ・タ・タ・タ・タ…！。

翌日、整形外科の診察で「ひかがみを痛めてしまいました」と容態を告げると、医師は机上の広辞苑をひもとき、しばらくしてから「ああ、

シッカブですね」。帰宅後「シッカブ」は「膝窩部」であることが判り、どうもこれが専門用語かと思われる。

「弓道教本第一巻」117頁には「膝臑(しっこく)(ひかがみ)」とある。広辞苑で「しっこく」を引くと「漆黑(漆のように黒くて光沢のあること)」と「桎梏(足かせと手かせ)」の二語があり、「膝臑」は出てこない。ちなみに「膝臑」は「しっかく」とあり、「膝の後方の窪んだ所、ひかがみ」とあることを知った。

「しっこく」と「しっかく」のいずれが正しいのやら、未だに解明できていない。

ともあれ、ひかがみを充分に張って縦線を確立しなければ、射はそれこそ「しっかく(失格)」と落ちをつけて、「ひかがみ」考の筆を擱く。

特集

埼玉連だよりアンケート 実施報告

総務副委員長 千葉 公

本特集は、埼玉連だよりアンケート実施の際に、多数寄せられた自由意見を掲載しました。

いくつかのご要望やご意見のうち、埼玉連専門委員会の協力を得て、現時点で回答できる内容を併せて掲載しております。

回答者のプロフィールやアンケートの統計データ分析は第57号の速報記事をご覧ください。

以下、埼玉連だよりアンケート調査の概要です。

○期間：

平成27年12月20日～平成28年1月15日

○対象者：

業務用会員名簿から、無作為に200名を抽出

○回答方法：

郵送による送付、返信による回収

○回答数：

140名(回収率：70%)

A. 「埼玉連だより」を読んでない理由

1. いつ発行されているのかも分からず、時折り道場に置いてあるので、目にすれば読んでいますが、あいまいな所が多い。
2. 部数が不足してなのか、入手することができない事があります。
3. 全員の手元に行き届かないので道場に置いてあるだけ。特に関心がなければ読まない。

4. 埼玉連だよりが届いた日に連盟の稽古に行かれないと手に入りません。1部掲示用として道場に残してはありますが細かいことまで目に届いていません。

5. 競技の結果や定例の記事は当然書かれ良いと思いますが、一部弓道に対する信念、抱負等も少し載せて！コラム記事グッド

(総務委員会)

現在、部数は会員3,400名に対し、2,100部を印刷しております。埼玉連ホームページにも掲載を開始しておりますので、入手できない場合や見逃した場合はホームページもご覧ください。

B. 今後どのような記事を望みますか、また充実させたいですか

1. 講習会での指導内容
2. 礼記射義の内容について簡略、明瞭な説明文を記事に。
3. 「持的射礼」について特集記事で詳しく掲載して頂きたい。
4. 伝達講習会の内容を具体的に書いて頂きたい。
5. 体格別、男女別、年齢別の練習方法。体配等変更があった時、分かりやすいように説明して欲しい。

(指導委員会)

積極的に講習会にて、確認してください。

- 昇段審査の日時、会場、受け付け締め切りを知らせてほしい。

(審査委員会)

年度毎にお知らせしていますので、道場の担当者に確認してください。

(総務委員会)

- 役員や委員の皆さんの記事が多く、会員の投稿が少ないと思います。会員参加型の「埼玉弓連だより」を希望します。
- 何かテーマを決めて、それに対しての意見を募る等々。
- 今後高齢化が進むなか、会員の交流に役立つような会報にしてください。
- 埼玉の弓道の歴史に関する記事を望みます。上達する為のQ&Aコーナーなど。
- 初心者にも理解しやすい内容を。
- 中級者以上の人達に参考になるよう七段以上の先生方の考え方を掲載すれば有意義だと思います。
- 例えば、道を求めてとか、「一言アドバイス」とか、初心者コーナーのような表題の小欄を設けて頂き、射場の整備の有り方、審査と競技の違い等、弓に関する基本的事項をお教え頂きたい。
- 弓師、矢師など道具製作に関する方々のお話し、弓、矢について専門的視点（連載や特集で）。
- 弓道講座は教本より解りやすい。続けて欲しい。弓道から発した言葉もあるようです。その説明もあると面白い。
- 先生方のくふうしていること。裏技など(道具、その他何でも)先生方の心に残る射など。
- 先生方の回顧録などを通して、大切なことを次代に伝えて頂きたいと思います。
- 指導の記事や他弓連の稽古、修練の様子が分かれると練習の励みになるかと思えます。
- 各道場での稽古、修練の方法等、各先生方の指導方法をどのように工夫なさっているのか知りたい。審査、競技大会での失敗談等の記事もよいのではと思います。

以下、その他のご要望、ご意見から今後の記事への要望のものを記しました。

- 弓具についての解説記事を望む。例えば特徴、手入れの仕方、取り扱いの注意点等々

- 弓具に関する記事を定期的に掲載して貰えないでしょうか？「埼玉弓連だより」は現在のままでかまいませんが、WEBでは詳細な記事、連載を入れて頂けないでしょうか？
- 先生方の弓道講座（弓道への取り組み方、指導方策、稽古、修練の方策経験談等の記事を今迄以上に掲載してほしいと思います。

(総務委員会)

皆様のご意見を参考にして、今後の記事作りに役立てていきたいと考えています。

C. ホームページへの掲載について

- 体調不良で今お休みしています。家でも見られて良いと思います。
- 弓道場ではゆっくり読む時間が取れないが、ホームページに連載されれば、時間があれば場所を問わず、いつでもPCやスマートフォンで開いて読むことができる。
- 個人情報以外のものはよいと思うが、よくわからない
- ホームページの掲載により今後発行部数を減らし、経費削減につなげられる。また、掲載写真もカラーにできるのでより見やすくなるのでは。
- 読みたい時に読める。
- いつでも読むことが出来る。また紙の部数を減らすことが出来るのではないのでしょうか。
- 手軽に閲覧することができるから。
- 会員分の部数が届いていない。
- 「埼玉弓連だより」を多くの人に見てもらうのには、一つの良い方法だから。
- 各支部への配布部数が限られていることで、読めなかった者も、自由に読めるようになるから。
- 資源の無駄排除(ペーパーレスが望ましい)
- 私の所属の弓連では部数が足りなく、読めない人がいる時もあります。希望する人が全員読めるのは良いと思う。
- 道場に行かずとも読むことが出来る。(タイミングが悪いと手にすることが出来なかった事がある為)
- 現在、各連盟に配布される部数が少なく、手に入らない場合が生じます。松沢先生の連載記事など、続けて読みたいものもあります。このような時、ホームページがあれば助かります。
- いつでも読めるのは良いと思います。当方

- は出張が多く、埼玉連だよりを毎回手にすることが無いので特に良いと思います。
16. 部数の都合でいただけないことがありますので、ホームページ掲載があれば毎号読めます。
 17. ホームページがより活性化する。より多くの人が弓連だよりを目にする。但し、紙のたよりは必要！
 18. 部数が足りず手に届くことが少ないのでいいと思います。
 19. 文字は読まなくてもパソコンなら覗いてみる人もいると思うから。
 20. 埼玉連だよりは道場で手に入るの、いろいろな都合で道場に行けない場合でも、ホームページから読めるのは良いと思う。
 21. より早く読むことが出来る。写真等がカラーになり、読者に伝わり易い。(場合に依っては動画も可)(今後期待される効果として)冊子の発行が減り、編集コストが下がる。仮にアンケート等を実施する場合も紙に比べ容易になる。
 22. 各弓連に配布される部数が少ないため。
 23. HP から弓道講座が読めるようにしてほしい。
 24. 新しいことやってみる必要が有る。ネットの時代皆も喜ぶ。
 25. 良いと思いますがパソコンが無いので埼玉連だよりを読みたい。
 26. スマホなどの使用が普通の生活になっているのでネットに軸足を移していくのが良い。
 27. パソコンを使用していないので開くことが出来ない。
 28. 部数が少ないので低段者は持ち帰りが遠慮がちになります。HP で有れば読みたい。
 29. 部数が少なくコピーしている HP 掲載は良いと思います。
 30. HP には広報としての機能がある。関心のある人や、県外の弓友に活動を知ってもらえる。
 31. これからはパソコン利用が当たり前になると良いでしょう。配布部数が少なく、全員が読めなかったので掲載は良いと思う。
 32. いろいろな人に読んでもらえる。
 33. 紙の方が良いという人、パソコンの方が手軽と言う人がいる。
 34. 折角のHP でタイムリーに情報を発信することは非常に良い。
 35. 手軽に読みたい。過去のも含め。
 36. パソコンがないため、HP がみれない。
 37. 埼玉連だよりが手に入らない時も読むことが出来るので。
 38. 将来的には、HP にすべきだと思います。
 39. 過去の記録から読み返せるのは有意義だと思うから。
 40. 道場へ行かなければ入手できない。ファイリングが上手くいかない。
 41. 紙の発行を取りやめ、経費節減に努めて欲しい
 42. 部数が不足しているため。良いと思う。ぜひ活用したい。
 43. それぞれの立場、位置にあつての自分の考え方等の参考になるともいます。
 44. 開かれた埼玉連のイメージがする。多くの人々に知ってもらえる。
 45. 印刷代がカットになり、良いと思います。カットした分で講習会費用が無料になればうれしです。
 46. 弓道関係者以外の人が見ることが出来る。
 47. たよりを直接読めない我々としては読む機会がひろがるから。
 48. 部数が足りないことがあるので良いと思います。
 49. 会員部数分送られて来ないので。
 50. 会報が手元に無くても(遠隔地)でも記事を読むことが出来る。
 51. 手軽にみられる。
 52. ペーパーレスで良いと思う。
 53. こちらから情報発信していくことは必要なことと思います。埼玉連だよりは知識や情報の宝庫で有り、気軽に読めることで会員の視野が広がります。
 54. HP の掲載はすぐに読めることと、前の号に遡って読めると思うので良いと思います。
 55. PC を使用しない方もいるため、誌面での配布も必要ではないかと思います。
 56. いつでも見られるから。明るい上品なHP にして頂いて、学生弓道ではない若い人にアピールしていただきたい。
 57. いつでも見られる。
 58. 部数が不足の為、会員全員に渡らない。
 59. HP 掲載になれば弓道を習っていない人でも弓道が身近に感じるようになると思います。
 60. もっと早くHP に掲載してほしかった。早く見ることが出来るので。
 61. 埼玉連HP の支部欄に県央支部だけが利用していない。県央支部独自でやっているが

全くおかしなことで県総務として指導すべきと考える。

62. HPがあれば、皆が読めるから掲載して欲しい。
63. 大会、競技会の順位はHP掲載で十分だと思います。
64. HPで閲覧できると会員の方が目にする機会も増えるため良いことだと思います。
65. 少年少女から20代の若い人達が弓道のすばらしさに気づいてもらえるようなHPを作ってもらい弓道人口の裾野を大きく広げて頂きたい。
66. パソコンが苦手なため使わない。
67. パソコン等特にならぬ方もいるので、いかがでしょうか？
68. パソコン、スマートフォン等所有していない為、良否について判断できません。
69. ホームページを見る事が少ない為
70. 私事、インターネット接続していないため、主にアナログ派なので、見る事不可能のため。
71. 弓道者以外一般の人々も閲覧可能となると多少でもプライバシーの問題が気になります。
72. 高齢者でパソコンが全員使用できるとは限らないから。
73. 個人情報の取り扱いについて、運営、管理は十分注意をお願いします。

(総務委員会)

57号からホームページへの掲載を開始しました。松沢範士の弓道講座は初回より掲載しています。

ホームページへのアクセス数も増加しており、会員の皆様から一定の評価と期待を頂いております。

一方でパソコン、スマホ、タブレット等の端末を使用されない会員からは、従来の紙ベースでの会報の継続を希望されています。

また、個人情報やプライバシーの懸念を示される会員もおられます。掲載を希望されない方への周知を徹底していきたくと考えています。

総務委員会としては、当面、両方を並行して運営していき、将来的には、それぞれの特徴や長所を活かした広報の在り方を追求していきたくと考えています。

写真のカラー化、競技の速報記事、弓道教室等の社会への情報発信も大事になると考えています。

新しい感性と技術を持った弓道人が、ホーム

ページの運営に参加されることを期待します。

D. その他のご要望、ご意見

1. 講習会に出席しないとわからないことはできるだけ掲載していただけると助かります。(都合がつかず講習会に出席できないことがあるため)
2. 道場での立ち振る舞い、身だしなみ、女子の髪型等、気になる人を数名見かけます。「埼玉連だより」又は「講習会」等でご指導頂ければと思います。
3. 礼記射義唱和の先導者の「お座りください」「お立ちください」は必要なく「正座」「起立」が良いとの事が浸透しない、取り上げ検討ください
4. 射法訓の先導の方の号令について。起立、正座という方と、お立ち下さい、お座り下さい、と言う方がいますが、全弓連、埼玉連の推奨は？全国統一の号令のかけかたは？先生によっていろいろの指導があります。どちらか統一にさせていただきたく、答をお待ちします。

(指導委員会)

埼玉連としてはどちらでも良いとしております。なお、全弓連の講習会では「正座」「起立」が良いとしております。

5. 埼玉連だよりの55号の松沢範士の弓道講座は、大変勉強になりました。大切に保管させて頂いております。
6. 先生方の弓道講座が大変ためになります。毎回、たのしみにしています。
7. 最近は講習会にも足が遠のいてしまってますが、松沢範士の弓道講座を読ませて頂き、改めて修練に意欲を燃やさなければと思っております。これからも埼玉連だよりを楽しみにしています。
8. 個人レッスンに生かせる弓道の技をより具体的に解説して欲しい。
9. 初心者講習会の開催を増やして下さい。

(指導委員会)

支部で開催している地域の講習会に参加してください。

10. 審査に関する記事を読みたい。(可否基準や講評等)

(審査委員会)

弓道教本の審査規定や平成28年度の審査基

準を参照してください。

11. 審査を終わっての審査委員の先生方の感想等を載せて頂ければ勉強になると思う。
12. 審査結果のアップが遅いように思います。それに所属の間違いがあつたりしてご本人に気の毒に思うことが有ります。
13. 地方審査の合格者」等の HP への掲載は迅速にお願いしたい。(係の方、多忙とはおもいますが。他の道場の人などの情報が知りたいので。

(審査委員会)

できるだけ早急に掲載をすべく、体制を整えます。

14. 昇段審査等、不合格となった者のどの点が×だったのか一人一人に知らせて欲しい。基準は達成したのにどうして不合格なのか知りたい。

(審査委員会)

地元の指導者の先生に確認していただき、さらなる稽古をしてください。

15. 毎号楽しみに拝読しております。最新号では「祝射の珍事」が印象深かったです。各委員会や支部だよりからは、活動内容やそこに携わる多くの方々のご尽力が伝わってきます。編集の皆様、ありがとうございます。
16. 大会で自分や知り合いの名前が出た時は、とてもうれしいものです。ありがとうございます。
17. 毎回沢山の記事の掲載、編集、ありがとうございます。
18. 普段、自分達の支部以外の活動は埼玉連だよりでしかわかりません。是非今後共充実した記事を発信する事を希望しています。
19. 「埼玉連だより」の発行ありがとうございます。まだ弓道の入口に立ったばかりですので、県内の様々な動きや知らない事等々、どの記事も興味深く読ませていただいております。大変なお仕事でしょうが、これからもよろしくお願いいたします。
20. 日々の編集お疲れ様です。いつも楽しく拝読しております。気に入った記事は県外の弓友にも紹介しています。その面からもホームページ掲載は賛成です。大変な事も多いと思いますが、今後も宜しくお願い致します。

す。

21. 入会したばかりですので初めて頂戴し、読ませていただきました。今後も宜しくお願い致します。編集委員会の方々には感謝いたします。
22. 大会記録は支部ごと、部ごとに文字で書かれると見にくくて読む気が起きにくいし、わかりにくい。大会記録という項を作って全支部、部をまとめて表形式にまとめた方がわかりやすいし、読みたくなると思います。
23. 毎号拝見させて頂いております。ありがとうございます。
24. 「埼玉連だより」の部数ですが、各道場で県連会費を納めている人分は確保してほしい。読みたくとも部数が不足して手に入りません。
25. このアンケートを頂き「埼玉連だより」の存在を知りました。道場にて既刊号を何部か読みましたが、まだ初心者ですのでもう少し上達しましたら、内容も身近なものになるかな?と思いました。
26. 時々、剣道、柔道は新聞で見ますが弓道は見ることがありません。(?) 弓道人口を増やすためにも是非検討して下さい。記者に働きかけるなど。
27. 新しい事、何でもやってみる必要がある。ネットの時代で皆も喜ぶと思う。
28. 弓道を始めて日も浅いので少しでも上達したいと練習していますが、毎回先生にご指導頂けるわけではないので「埼玉連だより」をじっくり読んで学べることは身につけたいと思います。皆様にいきわたるように部数を増やして欲しいです。お願い致します。
29. 今後、弓道の発展、拡大の為には何をすべきか、少し先のことを考えての記事など?
30. 私自身も高齢の域にあり、ご指導頂いた小澤名誉会長の回復の様子を日々胸に刻んでおります。良い知らせが有ります事を望んでおります。
31. 毎回盛りだくさんの記事、大変ためになり、楽しみにしております。編集委員会の方々の努力の賜物、大事に読ませて頂きます
32. 部数が不足のため、時々しか手に入らない。
33. 弓道連盟のインターネット化をぜひ進めてほしい。不便でしかたなかった。
34. 今回は、読みごたえがあった。特に関東ブロック大会、大会役員の方々の苦勞、ごく

ろうさんでした。

35. できれば、バックナンバーをすべて掲載して欲しい。弓連の歴史や、指導の変化等参照したい項目が多々あります。
36. 12月19日の朝日新聞は本橋県連会長のインタビュー記事が出ていましたが会員が読んでおいた方が良い情報は積極的に掲載したら良いと思います。

(総務委員会)

本号の巻頭言に掲載しましたのでご覧ください。

37. 新会長の弓歴等（プライバシー保護条例を考慮して）掲載して欲しい。（弓道への取り組み方とかインタビュー形式で差しさわりの無い範囲で。
38. 埼弓連だよりを楽しみにしております。色々埼弓連での話し合いされたこと等をお聞かせ下さると嬉しいです。
39. 紙に書かれた事を信用している世代。埼弓連だよりが手に入ると家でじっくり読んだり、練習時に思い起こせる。高校生の孫にも見せています。
40. 毎号、楽しみにしています。
41. 弓道講座はとても勉強になります。特集記事、投稿記事は身を置く弓道環境以外に様々な活躍の場があること、弓道人として身に付けるべきこと姿勢を正すべきこと、弓の楽しさなどを教えてください。又、委員会だよりは中心的な先生方のご苦勞が良く分かります。
42. 次号以降の梶田博士の特集記事を期待しております。また、この様に弓道に関する本や、歴史や人物等の親しみのおける特集記事があればと思います。埼弓連だよりのカラー化の予定は有るのでしょうか。

(総務委員会)

印刷物のカラー化はコストを考えると難しいですが、ホームページ掲載ではカラー化を検討したいと考えています。

43. 埼弓連だよりを読んで改めて会長様役員の皆様のご苦勞があつて私たちは弓道を楽しめるのだと思います。日々、感謝の気持ちを忘れないように習練委励みます。本当にありがとうございます。
44. 弓道を始めたばかりの者ですが楽しく読ませて頂いております。これからもご活動を

お願いします。

45. 埼弓連だよりは通常は各道場に配布されることが決まりのようです。あまり道場に行かない時は手にすることが出来ませんので、「弓連会員」には必ず入手することが出来るよう各人宛てに必ず時には郵送することも一案と存じますのでご検討下さいますようお願い申し上げます。

(総務委員会)

郵送についてはコストの問題があり、支部毎の配布方法を見直したいと思います。

(総務委員会)

今回のアンケートにご協力いただきました多数の会員の皆様に紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

今後、より良い紙面づくりに役立てるとともに、皆様の「埼弓連だより」になるよう努めたいと思います。

引き続き、ご支援・ご協力のほど、お願いいたします。

編集後記

第57号の編集後記にて、本号で飯島千代子範士の記事を載せることをお伝えしましたが、飯島千代子範士の祝射会・祝賀会の日程が本号の記事締切りに間に合わず、次号にて祝射会・祝賀会の模様をご紹介します。

10月初旬は暑い日が続きましたが、11月に入り寒い日が続いております。急激な気温の変化で体調を崩している弓友が周囲にも見受けられます。本年も残り一か月を残すところとなりました。納射会や納会と忙しい日が続きます。体調に留意され、良き新年をお迎えください。

今年一年、大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

編集委員長 千葉 公



松沢範士の弓道講座 (第7回)

行射の際の個癖 (特に会の修正)

早気について

原因

1. 中て気が強い。 的を意識しすぎる
2. 弓力が強い。 体力負けして早く離す。
3. 息合いに無関心。呼吸を止めているため苦しくなって直ぐ離す。
4. 矢尺一杯に引いてない。 楽をしている。不安定な会。

(直し方)

1の場合

- ・巻藁で練習 これができても射場では早くなる人もある。
- ・射場で引いても離さないで元に戻す。
- ・前の人に併せて持つ。
- ・的を外して射る或いは的を置かずに射る。

2の場合

- ・弓力を落とす。 程々に弱い弓にして持つ。

3の場合

- ・一動作一呼吸の実践、会で吸う伸び合いで吐く、八、九部詰まったところが離れ。

4の場合

- ・矢尺を一杯に引く 手繰らないように注意して。

*的は狙うな 的は見よ

(見よ狙うな)の心境

*注意すると持てる人は直りが早い。

範士の先生でも昔早気があり弱弓を引いて直した。

もたれについて

原因

1. 磔に起因する場合
弦道の窪みが深い。
2. 右手手の内の使い方 力みが強い。
3. 不安・怖気
4. 狙いが決まらない
5. 矢口が開く

(直し方)

1の場合

- ・磔口が深いと切れが出ない
- ・修理か取替えの要有り。

2の場合

- ・取りかけは軟らかく特に親指への押さえを軽くする。

3の場合

- ・丹田に力を入れ、迷いを去る。気を強くもって発す。

4の場合

- ・素引き等を多くして引き納めるまでの動作を一定にする。

5の場合

- ・外張りを利かせ人差し指で優しく矢を押さえる。

*私の場合

37歳の時に一年ほどこの病にかかりました。会に入り中々離れができません。狙いもついて時期は来ても親指が撥ねないのです。今になって解ったことですが、親指の先端が薬指の第3関節に引っかかり、取れない状態になっていたのです。

先輩の先生に押さえが強い事を指摘され、修正どうにか離れが出るようになりました。

びくについて

原因

会に至る前に出ることと、会の中で出る場合とがあるが、後者が殆どである。

押手・勝手・息合い・狙いなどのうち、1カ所2カ所離れの時期に来たのに満たないところがある場合に発生する。特に狙いの迷いが多い。

(直し方)

狙いがついたら徐々に伸び合い、機満ちたら惜しまず発射する。果断實行

*私の場合

40代でかかりました。果断實行 迷いを断って思い切り開くのみです。

